

# 地域包括ケアシステムの推進に係る第1層協議体推進会議がスタートしました！

## 開催経緯

※第1層：大崎市全域 第2層：地域自治組織単位

大崎市では地域における「生活の困りごと解決」に向けて既存の地域自治組織活動を基盤に生活支援体制整備事業を推進し、手上げ方式によって実施している第2層圏域の支援に重点を置いてきました。

事業実施団体における取り組みが進むにつれ、圏域ごとに解決できる課題については支え合いの仕組みを構築することで解決できていますが、圏域ごとに解決することが困難な課題や、必要とする人に資源が繋がっていない状況が明らかとなってきました。

そこで、明らかとなった第2層圏域の課題を集約し、全市的な課題について多様な主体間の連携・協働による解決を行うことを目的に「定期的な情報共有・連携強化」を行う場として『第1層協議体推進会議』を開催することになりました。

## 主なメンバー

分野	所属
地域福祉	社会福祉法人大崎市社会福祉協議会
NPO法人	NPO法人未来産業創造おおさき
地域づくり	公益財団法人さわやか福祉財団
医療・介護	大崎市在宅医療・介護連携支援センター
医療・介護	一般社団法人宮城県理学療法士会
民間企業(包括協定)	日本郵便株式会社
民間企業(見守り協定)	株式会社セブン-イレブン・ジャパン



## 令和2年7月29日(水曜日)開催 第1回 内容

今回は、「参加者が共通認識を持つことを目的」に大崎市政策アドバイザーである高崎経済大学 教授 櫻井 常矢 氏を講師にお招きし「大崎市のこれまでの取り組みと地域包括ケアシステム」と題し、全国的な人口動態や大崎市が一貫して行ってきた地域自治と地域包括ケアシステムにはどのようなつながりがあるかについて講話をしていただきました。

講話後には、「多角的な視点から地域課題をどのように捉えるか」について意見交換を行い、それぞれのメンバーからは「企業による見守りの在り方」や、「支援者にニーズが届いていない」という現状について意見が出されました。

9月下旬に第2回目を開催し、今回の意見を深め、解決に向けて取り組んでいきます。

